

第5次小平町社会教育
中期計画メインテーマ

つなげよう 学びの心 輝く未来へ

目指す姿「笑顔が広がるまち」「共に学び合いができるまち」「豊かな心を育むまち」
「心身ともに健やかなまち」「自立した活動ができるまち」



小平町民俳句大会入賞者決定!

平成二十二年度町民俳句大会の入賞者が次のとおり決定しました。
応募数は小学生九八句、中学生八一一句、一般二三四句でした。

【小学生の部】

特選 海の日が 待ち遠しくて 浮き輪出す
準特選 姉ちゃんと きそつてたべた いちごがり
いちごたち はっぱの下で かくれんぼ
入選 いちごがり 食べて食べて 食べまくる
海の日は 太陽たくさん 仕事する
いちごはね 虫がこいする くだものだ
かぶりつく まっかないちごに ほおおちる
海の日は 大空高く 水の色
おとうとと みずかけあそぶ うみのひに
いちごには 幸せのたね つまってる
海の日には かにも急いで 水遊び
赤々と 元気に育つ いちごがり
暑いねと いちご葉っぱで 顔かくす
いちごがり 小さな命 赤色だ
つやつやな ハウスの中の いちごひめ
いちご狩り ハウスの中で ひと苦勞
日焼けして 私もいちごも まっかつか
まっかつか いちごのぼうが てれやさん
弟の やんちゃな笑顔は 苺のよう

大滝 和佳 小平小五年
紅屋 樹 小平小四年
勝原 彩 小平小六年
嶋本 凌央 鬼鹿小三年
嶋中 咲慧 鬼鹿小三年
工藤 裕哉 鬼鹿小五年
鳴海 淳哉 鬼鹿小六年
佐々木脩平 小平小三年
越前帆乃夏 小平小三年
伊東 愛理 小平小四年
吉田 竜也 小平小四年
石黒 優香 小平小四年
中原 優希 小平小四年
金子 琴音 小平小五年
穴澤 ゆず 小平小六年
奥山 亘 小平小六年
東藤あおい 小平小六年
永井 水晶 小平小六年
紅屋 聖 小平小六年

【中学生の部】

特選 あと五分 冷やし中華を ゆでる母
準特選 夕風を 切り裂き進む 漁船かな
夕風や はるか遠くに 浮かぶ島
夕風や 心いやす 帰り道
夕風に 平和な明日を 願いけり
夕風に 語らう親子の 影ふたつ
夕風に びたりと止まる 風の音
夕風の 水面に映る 茜いろ
夕風が 楽しい時を とめていく
誓い合う 夕風の中 影ふたつ
夕風よ 風をください 我の身に
夕風よ できれば時間を 止めてくれ

林 琴美 小平中二年
山内 祐 鬼鹿中一年
秋山愛里菜 鬼鹿中二年
出町 瑞稀 鬼鹿中一年
岡 華珠美 鬼鹿中二年
斉藤 敏哉 鬼鹿中三年
坪田 瑠奈 鬼鹿中一年
斉藤 芹奈 小平中一年
上小倉優太 小平中三年
斉藤 真由 小平中三年
荒川 美香 小平中三年
伊藤 圭佑 小平中三年

【川柳の部】

*川柳の部は審査対象外です。
地藏堂 残し生活の 灯が失せる
生活だけ 世論調査は 知らん顔
生活圏 はずして野の菊 ぱつと咲く

斉藤 青磁 鬼鹿田代
中原 楓葉 鬼鹿田代
中原 楓葉 鬼鹿田代

【一般の部】

特選 堰越える 水音かすか 月見草
準特選 ふるさとや 宵待草の 墓碑ひとつ
暮れ残る 暑寒の峰や 月見草
過去遠く 宵待草に 類よせて
歌で聞く 宵待草の 花知らず
下駄ばきで 遊びし頃や 月見草

藤田 キヨ 鬼鹿田代
中原 楓葉 鬼鹿田代
大江美智子 小平
千嶋一枝子 達布
江部 岩男 小平
新名 真澄 小平

おびら太鼓麓龍20周年公演

おびら太鼓麓龍20周年公演が9月25日(土)午後4時から文化交流センターで開かれ、約500人のファンが会場に駆けつけました。



おびら太鼓麓龍は平成2年6月に町が和太鼓を購入したことをきっかけに10数名の有志によって結成され、日々試行錯誤による練習を重ねながら、町内外で活発な活動を行っています。現在は小学生から社会人までの50人を越える会員がおり、記念公演に向けた練習を積み重ねてきました。

今回の公演には、おびら太鼓麓龍の発会当初から親交のあった「平岸天神」(札幌市)を招き、第一部では平岸天神の25名が「鼓舞」、「笑う門に福来る」、「天神神楽」の華麗な舞を披露しました。第二部ではおびら太鼓麓龍の55名が初披露の新曲「打舞-DUB-」を筆頭に、これまでの日々の練習から生まれ、育まれてきたオリジナル曲、「望洋太鼓」、「WAVE」、「三味線」、「麓龍太鼓」、「群衆~GUNRAI」、「篠笛」、「東風-YAMASE-」、「天狗太鼓」などを力強く演奏しました。

最後に、おびら太鼓麓龍と平岸天神のメンバーが合同でソーラン踊りを披露し、会場から溢れんばかりの大きな拍手が送られていました。